

公開シンポジウム

デジタル社会における新たなトラスト形成

～ 総合知による取り組みへ ～

1. 概要

日程：2023年1月10日（火）13:30～18:00

場所：Zoom Webinar によるオンライン開催

主催：国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）研究開発戦略センター（CRDS）

2. 開催趣旨

JST CRDS は、科学技術に求められる社会的・経済的なニーズを踏まえて、国として重点的に推進すべき研究領域や課題、その推進方策に関する提言を行っています。この一環として 2021 年 6 月から「デジタル社会における新たなトラスト形成」をテーマとした調査・検討に取り組み、2022 年 9 月に戦略プロポーザル^[1]を公表しました。このプロポーザルでは、デジタル化の進展につれて社会のさまざまな場面でトラスト（信頼）がうまく働かなくなってきたという状況・問題を、改善・解決するための新たな仕組み作りが必要であることを述べています。

トラストは相手が期待を裏切らないと思える状態です。リスクがあるとしても、相手をトラストできると、安心して迅速に行動・意思決定ができるようになります。トラストは協力や取引のコストを減らしてくれる効果があり、人々の活動を拡大し、ビジネスを発展させ、ビジネスの生き死にを左右する要因にもなります。

しかし、デジタル化の進展につれて、バーチャルな空間にも人間関係が広がり、複雑な技術を用いたシステムへの依存が高まり、だます技術も高度化してしまいました。その結果、デジタル社会と言われる今日において、顔が見える人間関係や人々の間のルールに支えられた「旧来のトラスト」だけではカバーされないケースが拡大し、社会におけるトラストの働きがほころんできています。この問題は、自動運転車、AI エージェント、コミュニケーションロボット、メタバースなどの新技術・新サービスの社会受容を左右するとともに、フェイク・偽装・なりすましなどによる詐欺・犯罪の懸念を高めています。

そこで、上記の問題に対処し、不信・警戒を過度に持つことなく幅広い協力・取引・人間関係を作ることができ、デジタル化によるさまざまな可能性・恩恵がより広がるような社会を目指す「デジタル社会における新たなトラスト形成」の研究開発が強く求められます。その実現には、技術開発だけでなく、制度設計や社会受容も考えた「総合知」に基づく研究開発が必要になります。

今回の公開シンポジウムでは、以上のような問題意識・方向性を述べた戦略プロポーザル^[1]の概要を紹介するとともに、問題意識を共有し、関連する研究開発に取り組んでいる有識者の方々に講演・話題提供をいただきます。本テーマは、情報科学分野（人工知能、セキュリティ／デジタルトラスト、フェイク対策など）だけでなく、広く人文・社会科学分野（社会学、心理学、哲学、政治学、経済学など）、さまざまな応用分野（医療、自動運転、ロボット、メタバースなど）に関わります。そのような幅広い分野横断の議論や知見共有が行える機会にもなればと考えています。

関連報告書（JST CRDS から公表）

[1] 戦略プロポーザル「デジタル社会における新たなトラスト形成」（2022 年 9 月）

<https://www.jst.go.jp/crds/report/CRDS-FY2022-SP-03.html>

[2] 科学技術未来戦略ワークショップ報告書「トラスト研究戦略 ～デジタル社会における新たなトラスト形成～」(2022 年 9 月)

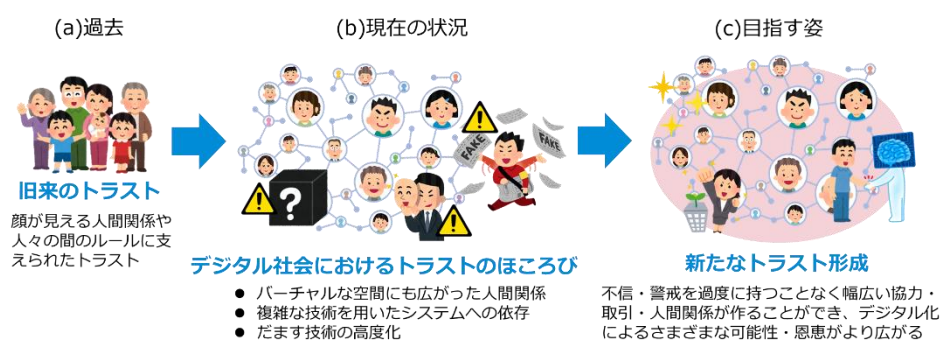
<https://www.jst.go.jp/crds/report/CRDS-FY2022-WR-05.html>

[3] 俯瞰セミナー＆ワークショップ報告書「トラスト研究の潮流 ～人文・社会科学から人工知能、医療まで～」(2022 年 2 月)

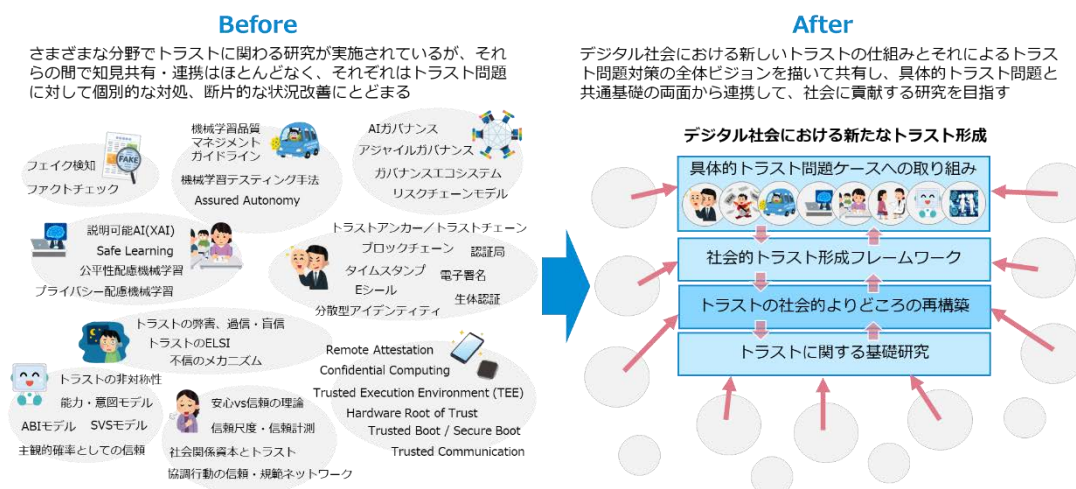
<https://www.jst.go.jp/crds/report/CRDS-FY2021-WR-05.html>

報告書[1]より：

- デジタル社会におけるトラストの問題認識と目指す姿



- トラスト研究開発の目指す姿



3. プログラム

第1部 [30分] 開催趣旨		
13:30～13:35	開催挨拶	木村康則（JST CRDS）
13:35～14:00	講演1：戦略プロポーザルの紹介	福島俊一（JST CRDS）
第2部 [90分] トラスト3側面への取り組み事例		
14:00～14:30	講演2（対象真正性）Trusted Web	クロサカタツヤ様（株式会社 企）
14:30～15:00	講演3（内容真実性）メディアのトラスト	山口真一様（国際大学 GLOCOM）
15:00～15:30	講演4（振る舞い予想・対応可能性）システムのトラスト	中島震様（国立情報学研究所）
休憩 [10分]		
第3部 [80分] トラスト3側面の融合・分野横断の必要性		
15:40～16:00	講演5：トラスト3側面の捉え方	大屋雄裕様（慶應義塾大学法学部）
16:00～16:20	講演6：情報系での国際的動向と分野横断の必要性	村山優子様（津田塾大学 数学・計算機科学研究所）
16:20～16:40	講演7：ステークホルダー関与、医療分野での実践事例	山本ベバリーアン様（大阪大学 人間科学研究科）
16:40～17:00	講演8：人文・社会系での取り組みと分野横断の必要性	小山虎様（山口大学 時間学研究所）
第4部 [60分] 総合討論		
17:00～18:00	司会	福島俊一（JST CRDS）
	総括コメンテーター	中川裕志様（理化学研究所 革新知能統合研究センター）
	質疑・議論	登壇者、聴講者
18:00	閉会	

4. 参加登録

- 本シンポジウムの Web ページの参加登録フォームから参加登録をお願いします。
- 参加無料ですが、事前の参加登録を必要とします。参加登録は1月9日（月）に締め切らせていただきます。

5. 参加者へのお願い事項・ご連絡事項

- 今回のシンポジウムの内容は、後日（4月頃）、報告書として一般公開を予定しています。
- 報告書作成のために運営側で録画いたします。この録画を、参加者限定・期間限定で録画を視聴可能にすることの可否は確認中です。
- 上記の通り報告書を後日公開しますので、参加者の皆様による録画や画面キャプチャはご遠慮ください。
- Zoom Webinar の接続情報は1月6日（金）に参加登録されたメールアドレス宛にお送りします。その他の実施詳細情報も、開催が近づいてから別途ご案内いたします。
- 事前の参加登録を必須としますので、参加登録時の氏名・所属名が表示される形での参加をお願いします。参加登録が確認できないときは、退出いただく場合があります。Zoom Webinar の接続情報を参加登録者以外に開示されないようにお願いします。
- 問い合わせ窓口：toshikazu.fukushima@jst.go.jp 福島俊一（JST CRDS フェロー）

以上